

## 地方創生・ICT推進対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和2年10月30日（金）

### 2 調査の概要

#### (1) 滋賀大学データサイエンス学部（彦根市馬場）

滋賀大学データサイエンス学部は、データサイエンスに焦点を合わせた日本初の学部であり、平成29年4月に設置され、多彩な企業と連携し、教育へフィードバックを行っている。

データサイエンスは、社会に溢れているデータから価値を引き出す学問であり、ICTの進化した現代では、あらゆるビジネスや医療、教育、行政等において、高度なデータ処理・分析能力が必要となっている。

こうしたことから、当学部を訪問し、ICTの活用方策や地方自治体等との連携について調査を行うとともに、団体や滋賀大学の皆さんと、人工知能（AI）プログラミング教室を通じた人材育成や地域の活性化などについて意見交換を行った。



#### (2) ヒノブルーイング株式会社（日野町西大路）

ヒノブルーイング株式会社は、日野町にある「滋賀農業公園ブルーメの丘」の敷地内で、平成30年に醸造を開始した小規模ビール醸造所である。

800年以上続く滋賀県無形民俗文化財「日野祭」を受け継いできた日野町において、日本人、ポーランド人、イギリス人の祭り好きな3名で開業し、地元日野祭をはじめとする祭りをテーマに、日本各地の祭りのためのビール造りを行っている。

また、収益の一部を様々な祭りの発展振興につながる活動費に寄付することで、各地の文化風土の保存継承に寄与することを目指しており、地方創生への貢献が期待される場所である。

こうしたことから、ヒノブルーイング株式会社を訪問し、醸造施設の概要および祭りをテーマにしたビール造りによる地域貢献について調査を行った。

